

<b>授業科目名</b>	助産診断・技術学実習 (2300415)		
<b>時間割名</b>	助産診断・技術学実習 (70242)		
<b>時間割担当</b>	服部律子 美甘祥子 岡居久代		
<b>実施期</b>	通年	<b>単位数</b>	3 選択
<b>曜日・時限</b>	集中		

### 授業の目標・概要

周産期にある母子や家族を対象に、助産過程を通して助産や日常生活の援助を実践し、助産実践に必要な基本的知識・技術・態度を習得する。

1. 妊娠期・産褥期・育児期にある女性とその家族を身体的・心理的・社会的な全体的な存在として理解する。
2. 妊娠期・産褥期・新生児期各期にある対象に、安全・安楽を考慮したケアが実践できる。

### 学習の到達目標

1. 妊娠期・産褥期・育児期にある女性とその家族を身体的・心理的・社会的な全体的な存在として理解する。
2. 妊娠期・産褥期・新生児期各期にある対象に、安全・安楽を考慮したケアが実践できる。

### 授業方法・形式

実習（臨地）

### 授業計画

助産学実習 ～ は並行して開講する。

実習期間：平成29年6月12日～平成29年11月10日

詳細は実習要項に示す。

### 成績評価の基準

実習目標への到達度（実習内容、実習記録、最終レポートを含む）90%、カンファレンス等への参加度・実習態度10%

### 授業時間外の課題

実習での学びの整理、対象への助産を実習するために必要な準備を行った上で実習に臨むこと。

### メッセージ

既習の医学、看護学、助産学等の科目の学びを統合し、安全に助産を行うための基礎的実践力の習得に努めてください。実習中は体調管理に留意し、学生間で協力をしながら、学習者としての真摯な態度で実習に臨んでください。また、教員、臨地実習指導者等への連絡、報告、相談を密にし、安全に学び多い実習ができるよう努めてください。

### 教材・教科書

特に定めなし。今までに使用したテキスト等を使用してください。

### 参考書

適宜、紹介する。